



皮肉な社會にどう生

きるか

人生は去つて歸らぬ水の流れである。吾々が何かに専念して居る間に種々なる事件が纏れて解け、解けてもつれて行く、喜と悲、満足と不幸、勤勉と怠慢、篤信と猜疑結婚と葬儀、出産と死亡、任官と免官、酒宴と天災、ありとあらゆる表裏、明暗の事件が走馬燈の如くめぐりてはめぐる、平和會議の裏に武力國防、軍縮會議の直後戦艦の製造、赤十字事業の擴張は軍器改造と並行する、そして連々續く相反したる事情の出現して止まる處を知り得られない、何んたる皮肉なることであるか、斯る皮肉極ま

る人生を送らねばならぬ社會に私人として將又公人としてベストを盡さねばならぬと教へらるる、忠ならんと欲すれば孝ならず孝ならんと欲すれば忠ならず、身の進退谷まれりと慨嘆した平重盛の胸中さこそと推察される、眞面目と虚飾と相並んだ顔を汽車中に電車中に事務室に見るときに吾が心境異状なしと誰が断定し得るか、交通の取締規定も警官の休息中は一方向に守られない監視の目を盗んで不埒を働く者が少なくないが己の監督者でありながら監督者に直面して何等憚る所なき心の持主も絶無ではない、どうして生活戦線上に朗かな氣持を以て新年を迎へんか無量の感想を禁ずる能はざるものである。

(内幸生)

注 意

本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

自轉車乗りの教養

交通線上而も危險性の大きなものは自轉車乗である。停止線外に乗り出る、横丁から疾走し來る、歩道を縦に乗りまわす、急勾配の坂路を手離して降り下る、群集の裡に突進し來る、物見の大衆の背後から曲乗りてのぞく、赤の信號を仰ぎながら横斷歩行者をおびやかす、挙げ來れば自轉車乗の横暴我儘は筆紙に盡し難い、試みに手帳に其不快な自轉車の番號をかきつけたが毎日々々二つや三つは記さねばならぬ。つまり無知者の多い自轉車乗りである、其教養を如何にすべきか生きた問題として提供する警察官廳と云はず一般に研究してほしいも

のである。(銀アラ生)

「明徴」の底流は急か 緩か

某誌の特輯欄に落着いたと思はれた國體明徴の問題は何したか底流が現はれると見へて兒玉拓相夫れは現内閣員中の情報大臣である秀雄伯が頗る活動して居る。それは飛んでもないことが持ち上るかも知れない情勢が生じた、在郷軍人團の一部では一木樞相と金森局長を辭職させねば手を引かないと云ふ状態ではには政府筋の苦勞は中々多い譯である。だから山崎農相あたりが政界異狀近しと見て取つて新黨の樹立に秘策をねつて居る。政友會の山本長老あたりもしびれを切らしたと見て「明徴問題」を政治化否政變化として行こふと云ふ態度に出そうなのか鈴木病總裁を戴いて居つては跋行的運動の外に出るを得ないと見られて居る、とにかくにも政府の出方によつ

假面劇

ては政黨のゴタ／＼で反つて國體明徴の問題は世間から姿を消すかも知れず此邊の處が最も面白い處だと投稿して居る者がある喜劇か悲劇か政界豫言を面白がつて居られては困る、あれどもなきが如き賣藥賣の口上其儘の伊太利制裁はどうか英京の軍縮會議の成行は如何、隣友支那の北部擾亂と蔣介石の二枚舌三枚舌の外交策如何、など憂ひ悲しみながら當面の内政問題、事小なるが如きも地方民の實生活に接觸する土木豫算問題などどう落ち付くか「明徴問題」の底流の影響は急なるか緩なるか。(杞憂生)

帝都のバス事業者の 青息赤息

東京市電車を甚しく威嚇し來つた帝都を東に西に北に南に縦走横行する數多のバスも減收又減收で其事業者は赤息青息の吐きつゞけであると云はれておるが酒くさい顔を寄り合せて研究した事業不良の原因とす

る所を見ると

- 一、一般社會の不景氣による乗車賃金安き市電等の交通機關を選ぶこと。
- 二、景品附賣出しによる弊害が現はるに至つたこと。
- 三、バス乗車内の混雜疲勞に對する市民の反感を生じたこと。
- 三、市電等に比較して其スピードが大差なきこと。
- 四、市電と郊外バスとの連絡が良くなりしこと。

五、本年度に入りて雨天の多かりしこと等である、バス事業の經營上根本的再檢討を行ひ近視眼的利益配當のみに力を盡すことを慎しみ公益事業たることに目醒むことが緊要であらうどうです。(通勤者生)

町村道路工事の不成 績にはあきれ

東北の某縣では凶作對策救濟事業の進行

狀況を精査した處「縣直營工事は道路五十
二パーセント河川十七パーセントの進捗振
りだが町村工事は道路パーセント河川は二
十パーセント港灣は七十七パーセントの進
捗振りであることが知られた。農村事業進
行且尤も主要な道路事業が其不成績を極む
ることは何んたることか頼む時には大騒ぎ
しておいて愈々施工となると怠慢極まるに
は全くあきれかへるのであるとの事である
眞か虚か之れでは折角内務當局が大藏當局
にない袖を振らそうと手辯當で夜業までし
て努力しても親の心子知らずと云ふ結果と
なるの外はない。斯くては東北振興策も何
の事かと言ひたくなる、豫算編成にタイピ
ストの指先を血に滲ましてはと思はるゝの
である、東北地方の同胞諸君よ緊禪一番不
名譽の恢復を期せられよ、歳暮の土産とし
て此一言を呈する。(外櫻生)

大に交通座談會を開

催せよ

言ひ丈け思ふ存分を述べ得る新聞雑誌の

記者、ヘルメット帽で短剣を腰にゲートル
巻のいき／＼した面かもコラツ／＼と連發
する程左様に神經を鋭尖化する交通巡查、
夫れを直接監督する警察署の首腦者告訴告
發の文書の上では非曲直は眼光紙背に徹
する底の能力をもたなければならぬ檢事、
從業者の申出には九十九パーセントまで同
情と盲従と了解とをもたなければならぬ交
通機關の首腦者、道路の構造鋪裝などに直
接する技術者及信號、安全地帯、ロータリ
ー式交通整理設備等の有識者其他自動車業
者通行者等が相會して交通座談會を開き現
實に又理想につき腹藏なく意見の交換を爲
すことは道路交通上一大利益あることと思
ふのである、道路改良會などでも此會を開
催することは至極適當な事業であると考へ
る、現に横濱に於て曩日開催した交通座談
會の記事を一讀する丈けでも頗る興味を感
ぜしめられた次第である。(夏木生)

信號機より道路施設

が不完全

横濱の交通問題座談會で重村加賀警察署
長の意見の中に興味ある處を抜書きして見

と斯うである「後から後からと違反する
(交通法則に)また違反した、此奴も違反
したといふことになると、ツイ知らず識ら
ずの中亢奮する、また一方通行する人もか
く交通を辨へてかういふ時はこの信號に従
ふといふ位の心得が無くては不可ぬ。さう
なれば大きな聲で怒鳴る必要もない。又假
にどなられてもこれは俺が違反したからだ
とさういふ風に考へると其處に争ひの餘地
が無い所が注意しても知らん顔をして行く
そこでコラツと来る……信號は理想である
が車道とか歩行道とかいろ／＼不完全な所
がある、其處で私の方で計畫を樹てまして
己に電氣局にも申上げて……斯ういふ風に
やつて貰らいたいと案を樹てて縣の道路課
へまわしてあります……いろ／＼交通事故
が起るといふのを研究して見ると何處も同
じだが結局現在の交通を無視した道路が多
いのです。これは道路を改良して新らしい
道路を造ることが必要だ……」と實際に
即した交通取締者の言である、大に研究
して道路さへあれば現代的交通が調和せら
るゝとのみは思はれない、關係當局の方々
如何に考へなされるや。(弟夏木)